

学習ポイント 1

小学校～中学校の総復習／高校受験対策

説明文・論説文・物語の読解や記述に役立つ語句を、読み・書き・意味・使い方の面から総復習する。他の単元と同じ語も、異なる文脈や問い方で繰り返し練習する。ここでの「重要」は学習上の有用性を示し、入試の出題頻度を統計的に測定した順位ではない。全国共通の「中3の新出漢字」だけに限定せず、既習語から発展語まで扱う。問題文はすべて本教材のために作成した。

目標 文脈を手掛かりに、語句の読み・表記・意味を確かめる。／抽象的な語を具体的な場面や行動に結び付ける。／語句を適切に用い、根拠や条件を保った説明を書く。

1 読み・表記・意味を一組にする

語句は読みだけ、漢字だけで覚えず、どんな場面で使うかまで結び付けよう。「慎重」は注意深く進める態度、「謙虚」は自分を誇らない素直な態度を表す。文の説明と合うか確かめ、知らない語は一字ずつの意味も手掛かりにして辞書で調べる。

例1 慎重（しんちょう）：申込書の名前と日付を一項目ずつ確かめた。

例2 謙虚（けんきょ）：表彰された後も、仲間の助言に耳を傾けた。

例3 簡潔（かんけつ）：案内には必要な情報を短く分かりやすくまとめた。

2 議論の中での役割を見分ける

筆者の言いたいことが「主張」、それを支える理由や資料が「根拠」。手掛かりからまだ確かめていないことを考えるのが「推測」で、事実や実験に照らして確かめるのが「検証」である。結論らしい言葉だけを覚えず、何をもとに、どの程度確かだと言えるのかを読む。

例1 主張と根拠：通学路の照明を増やしたい。その理由として夜の見えにくさを調べた記録を示す。

例2 推測：ぬれた傘を見て、外では雨が降っているのだろうと考える。

例3 検証：紙の種類で吸水量が変わるという考えを、条件をそろえた実験で確かめる。

学習ポイント 2

小学校～中学校の総復習／高校受験対策

3 大きなくくりと具体例を行き来する

個々の例から共通の性質を取り出すと「抽象」になる。目に浮かぶような形・数・行動を挙げると「具体」になる。また「普遍」は広く共通すること、「特殊」は限られたものだけに見られることを表す。難しい語を「分かりにくい語」とだけ覚えず、例との関係で理解しよう。

例1 抽象と具体：「公共交通」というくくりに対し、「路線バス」は具体例の一つになる。

例2 具体化：「読書を増やす」を「登校前に十分間、小説を読む」と詳しくする。

例3 普遍と特殊：時代を越えた共通点を探す見方と、その地域ならではの事情を探す見方を使い分ける。

4 心情語は迷いの原因まで読む

「葛藤」は対立する気持ちなどがぶつかり合うこと、「困惑」はどうしたらよいか分からず戸惑うこと。「躊躇」はためらってすぐに行動へ移れないことを表す。同じ沈黙でも理由は異なるので、前の出来事と後の行動をつなぎ、何に迷っているかを捉える。

例1 葛藤（かっとう）：本当のことを伝えたい気持ちと、友人を傷つけない気持ちがぶつかる。

例2 困惑（こんわく）：予想していなかった質問を受け、どう返すか分からなくなる。

例3 躊躇（ちゅうちょ）：意見はあるが、大勢の前で手を上げるのをためらう。

学習ポイント 3

小学校～中学校の総復習／高校受験対策

5 相手・社会との関わりを具体的に考える

「配慮」は相手の事情などに心を配ること、「尊重」は相手や物事を大切なものとして扱うこと。「公平」は一部だけをえこひいきしない考え方である。また、物事を進ませる「促進」と、行き過ぎなどをおさえる「抑制」は向きが反対。対象と実際の行動をセットで考えよう。

例1 配慮：小さい文字が読みにくい人にも伝わるよう、案内を大きな字にする。

例2 尊重：自分とは違う希望でも、まず理由を聞いて大切に扱う。

例3 促進と抑制：利用を促進するために案内を増やし、混雑を抑制するために入場時刻を分ける。

6 文脈に合う意味と結び付きで使う

一つの語にも複数の使い方がある。「柔軟」は物がしなやかなことにも、考え方を適切に変えられることにも使う。「把握」は状況などをつかむこと、「模索」は方法が確定しない中で探り求めること。「端的」は要点を的確に示す場面などに用いる。置き換えた後の文まで読み直そう。

例1 柔軟：曲がりやすい素材は柔軟で、新しい事情に合わせられる考え方も柔軟である。

例2 把握と模索：参加者の希望を把握してから、全員が楽しめる方法を模索する。

例3 端的：話の結論を先に示し、何を求めているか端的に伝える。

使い方と参考資料

本教材の対象と採点について

A 基礎 → B 標準 → C 応用 → D 確認の順で取り組みなさい。A～Cは練習、Dは8問100点の確認テストです。

読み・語彙は小学校～中学校の既習事項を広く復習し、書き取りには高校受験対策の語も含めます。「中3」は利用の目安であり、各語が全国共通の中3新出漢字という意味ではありません。

書く欄は1マス9mm、罫線は1行10mmです。字数指定がない場合、余ったマスは空けて構いません。字数指定のあるマス目では、句読点も1マスに1字ずつ書きなさい。

本教材では、学校での学習を想定した標準的な読み・表記を練習します。辞書にある別読・異表記をすべて許容解とするものではありません。送り仮名の許容形や記述の言い換えは、解答解説の基準に従います。手書きの字形は、同じ漢字と判断できるかを確認してください。

設問・例文は、本教材のために作成したオリジナルです。出題頻度の統計や特定地域の入試傾向を示す教材ではありません。参考資料の例文・設問は転載していません。共通する語句は、別の文脈や出題形式で繰り返し確認する総復習として配置しています。

1 文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）』

国語（冊子29～40ページ）の漢字・語彙の学習範囲を確認。独自の総復習・受験対策教材として構成し、出題頻度の根拠には用いていない。

2 漢字ペディア「抽象」

個別のものから共通の要素を取り出す意味を確認。

3 漢字ペディア「普遍」

広く共通する意味を確認。

4 漢字ペディア「示唆」

語義と辞書上の読みを確認。本教材の読みの練習は「しさ」を正答とする。

5 漢字ペディア「享受」

恩恵を受けて楽しむ意味を確認。

参考資料 続き

語義と学習範囲の確認

6 漢字ペディア「端的」

要点を的確に示す意味を確認。

7 漢字ペディア「謙虚」

自分を誇らず素直に振る舞う意味を確認。

8 漢字ペディア「暫定」

確定前に仮に決める意味を確認。

9 漢字ペディア「遵守」

規則等に従い守る意味と、順守の表記を確認。

10 漢字ペディア「是正」

不都合を改める意味を確認。

11 漢字ペディア「固執」

考えを変えず主張し続ける意味と複数の読みを確認。

12 漢字ペディア「譲歩」

自分の主張を改めて相手の意見を受け入れる意味を確認。

13 漢字ペディア「看過」

見逃す・見落とす意味を確認。

14 漢字ペディア「批判」

価値や正当性を検討する意味と、問題点を論じる意味を確認。

参考資料 続き

語義と学習範囲の確認

15 漢字ペディア「阻害・阻碍」

語義と辞書上の異表記を確認。本教材の書き取りでは、常用漢字による「阻害」を練習する。

資料確認日 2026年10月8日。資料名を選ぶと参照ページが開きます。